

広袴便り

広袴町内会
会報第22号

発行日
平成23年1月6日

発行責任者
広袴町内会
夏目義久



新年のご挨拶

● 明けましておめでとうございます。

町内会会長 夏目義久

町内会の皆様におかれましては、よき御年をお迎
えのこととお慶び申し上げます。

昨年の世情は、変革に期待をかけたものの、変革
が中途半端で、不安と混乱が増すばかりでしたが、
皆様はいかがでしたでしょうか。

今年は辛卯（かのとう）の年で、いい意味では「繁
栄する、繁茂する」年。悪い意味では「紛糾し、動
きが取れなくなる」年だそうです。今年こそみんな
頑張つて、かつてのように「日本の時代」と再び言
われるようになって欲しいと願うばかりです。

さて、会長拜命にあたり、当広袴の町づくりのコ
ンセプトとして以下の五つの柱を掲げ、折あるごと
に皆様に説明し、具体的活動につなげてきました。
また、委員の方々も努力をしてくれました。

- 一、安心、安全な町
- 二、子供、お年寄りを大事にする町



広袴町内会役員の皆様

- 三、きれいで清潔な町
- 四、伝統文化を大事にする町
- 五、ご近所の触れ合いのある町

さて、最
近、町内会
会員の加入
者が頭打ち
の傾向にあ
るため、よ
り多くの入
りに町内会に
加入してい
ただき、さ
らに良い町
作りを目指
したいとい
う思いか
ら、加入者
を増やすこ
とを昨年の
新しい目標

の一つに加えました。
私自身も班長さん達と未加入の家庭を訪問し、上
記町作りの柱を説明し勧誘して廻りました。その過
程で、直ちに賛同してくれる方々が結構おられるこ
とが分かり、安心しました。と同時に訪問販売並み
に迷惑扱いされたり、入会すると何か見返りがある
のかと問われたり、全く関心が無い人がいたりして、
淋しい思いをすることもありました。

そもそも町内会とはどうあるべきでしょうか。
どうか皆様も年の初めに改めて一度、町内会組織
とその活動の意義について考えてみて下さい。そし
てどんどん提言してください。皆さんの、皆さんで
作る、皆さんのための町内会ですから。

あと残り少ない任期ではありますが、最後までい
い町づくりを目指して努力したいと思いますので、
よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

今年は、年頭に当たり各委員の方々にも抱負を述
べて頂くことになりましたので、これもご覧いただき、
ご協力をお願いいたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

● 謹んで新春の御祝詞を申し上げます。

町内会副会長 本郷和朗

会員の皆様におかれましても良いお年を迎えられ
たこととお慶び申し上げます。

本年は、卯年で御座います、日本昔話で「うさぎ
とかめ」というお話があります。

話の内容を要釈しますと『ある目的地に向かって
(うさぎとかめ) が競争しましたうさぎは大差をつ

けたことに気を許し居眠りしている間にかめに追い越され目的地への到着が遅れ競争に負けてしまいました。』

町内会活動に「勝敗」はありませんが「安心・安全・明るく・楽しい」町づくりと言うものは日々の努力によって形が整っていくものと思います、今年も町内会活動には何があるか分かりませんが、会員皆様のご指導・ご協力を賜わりつつ、より充実した町づくりを進めてまいります。

●町田で一番、私の住む街、広袴

町内会副会長 山川広司

多摩ニュータウンから移り住んで、広袴で八回目の正月を迎えました。昭和四十三年に境川団地に世帯をもったときは、まだ今の小田急町田駅も「新原町田」駅で、車窓から見る鶴川駅前も、何も無いと言ってよい程の静かな田舎駅でした。今のままの静かで住み良い「広袴」を次代に引き継いでいきたいと考えています。皆さん一人一人のお力をお貸下さい。

●存在を感じたい町内会

町内会副会長 若井定利

町内会とは、自分にとってなんだろう、と自問自答をした時が、若い時代にあった記憶がある。

今、役員を任せられ、なぜ、そういう気になったのか振りかえって居る。日常的に、平時には存在価値を感じない町内会、しかし、有事の時は、隣近所、力を合わせて問題解消に努めなければならない。

そこに強い「絆」が生まれて来る。だが、災害や

犯罪は無い方が良いのは当たり前だ。では、どうしたら存在価値がもてるかだ。

やはり日頃から、隣近所との「和」を重んじ、会話を通じ町内会を考える事であろう。

●新年明けましておめでとございます。

町内会総務部長 荻野貢

昨年は、記録的な猛暑や豪雨被害が相次いで発生したり、これらの影響による野菜の高騰など社会生活に大きな影響が出た年でありました。

また、政治においても外交問題などあまり明るいニュースはなかったように思いますが、その中でも、小惑星探査機「はやぶさ」の地球帰還やノーベル化学賞に日本人が二名受賞し、将来に希望が見える明るいニュースではなかったでしょうか。

一方、町内に目を向けると、大きな災害、事故もなく平穏な一年であったのではないかと思います。

広袴に居住し七年目を迎えますが、町内会の総務として、役員会の定期開催、回覧物の配布、夏祭りを始めとした各種行事のサポートを行ってきました。

今後についても町内会の縁の下の力持ちとして各種サポートを行ってまいりたいと思います。

今年一年がみなさんにとって、すばらしい年でありますことを心からお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

●広袴の皆様、新年明けましておめでとございます。

町内会会計部長 小林敬明

平成二十三年の干支は辛卯（かのとう）、前回の

辛卯の年は昭和二十六年ということで、当時の世相を探索してみました。昭和二十六年、その前年六月に朝鮮半島で戦争が勃発（朝鮮戦争）、朝鮮半島の支配権をめぐり、いわゆる北鮮（北朝鮮）を支援する共産主義陣営（ソ連、中共）と南鮮（韓国）を支援する自由主義陣営（米国、英国などの国連軍）との戦いになりました。これをきっかけに米国の日本占領政策は一変し、日本の自衛権を認めようということになって、急遽警察予備隊（自衛隊の前身）が編成され、サンフランシスコ講和条約、併せて日米安保条約が調印されました（二十六年九月）。NHKラジオで紅白歌合戦、三つの歌などが放送され始めたのもこの年で、敗戦後の混乱のどん底から日本の経済が急速に復興し始めたのは、この辺りからでした。

さてさて、六十年周期で干支は一から出直すとの易占学からすると、今年はどんな年になるのでしょうか。この広袴で生活している私たちは、まずは「向こう三軒両隣」明るく声をかけ合って、お互いの幸せのために、協力し合っていくことがとても大切なことだと思えます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

●新年明けましておめでとございます。

町内会防犯部長 加藤正

昨年は梅雨時期から未曾有の酷暑に見舞われ、熱中症と言うあやしげな言葉が広がり多くの人が外出を控える夏でした。

そんな中で行われた自主防災訓練及び盆踊りが無

事に終わり、ほっとしたのも束の間で三十五度を越す猛暑日が続き救急車が活躍の日々でした。

秋になると今度は台風と大雨により西日本各地の予想外な場所で尊い人命が失われという悲しいニュースが頻繁に伝えられ防災の大切さを思い知らされました。現場の多くが防災対策を充分になされていた所であった事がショックでした。

自然は人知を超えているのです。ハード面での対策はソフトによって生かされる事を身にしみて感じました。幸い広袴町内は平穏な一年が過ぎ、年末の「火の用心」カチカチで平成二十二年を締めくくり、「平和な新年」を迎えることができました。この幸せに感謝する気持ちを町内の皆様と共に持ち続けて、今年もよりいっそう安心な町づくりにお役にたてればと思ひながら楽しい里山を散歩しているお正月です。

●新年明けましておめでとうございます。

町内会環境衛生部長 吉川弘也

皆様には、お健やかに初春をお迎えのことと存じます。環境衛生部から環境厚生部となり一年が過ぎようとしています。

副部長から部長と大役を任せられ、皆様のご理解と御協力を得ながら、力不足の私を支えて頂きここまで来ることが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

これからも、この広袴の伝統と文化を大切し、多くの方々と交流させて頂けたらと思います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

●文化部の役割

町内会文化部長 山路利英

広袴公園で行われる盆踊り、鶴川地区にある町内会が合同で開催する市民運動会（九月）、小学生から大人までの力作が集まる作品展示会（十月）、一月になると各地域で見受けられるどんど焼き（子供会主催）、春と秋の二回、有志によって開かれるフリーマーケットなどが町内会で行われています。ここの広袴には親子代々にわたり住んでいる人々、私のように移り住んで数年の人達が大勢います。この地域に古くから伝わる行事に加えて新しい企画を取り入れることにより、明るく楽しい「ふるさと」作りの応援団の役割を担っているのが町内会・文化部です。季節ごとの催しには年々多くの皆さんが参加され、なかには国外から移り住まれた方々も見受けられます。広袴の伝統に詳しい方々の知恵と新しい世代の力を持ち寄った「我らの町内会」が始まっています。新年一月十四日（金）は広袴公園にて「どんど焼き」が予定されています。みなさん、団子を焼きに来ませんか？

●広袴町内会の皆様、フレッシュタウン鶴川自治会の皆様、そして各町内会のご家族の皆様、あけましておめでとうございます。

フレッシュタウン鶴川自治会長 佐々俊隆

昨年フレッシュタウン鶴川自治会は、広袴町内会と連携しながら防災・防犯・交通安全を実施してまいりました。広袴会館にて毎月開催される委員会への参加、消防団との交流、有線放送テストの参加、

また不審者情報のご提供なども頂きました。

その結果、成果を結実させることができ、広袴町内会役員の皆様、各組委員と班長の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。広袴の自然環境は素晴らしいものです。私は約二十四年前、この広袴へ移って来たとき、私が少年期の頃に生まれ育った東京・世田谷の風景を彷彿させ回想にふけったものでした。この広袴の長閑な風景を後世に残したいものです。最近、広袴住民に若い方々が増え、町内の在り方も変わっていくので、調和をつけながらやっていかなければならないと思っております。

本年も昨年以上に広袴町内会の方々と連携を強め、この自然環境に恵まれた中で、「住みよい広袴」を築くべく努力する所存でございます。

最後に、広袴町内会の役員様、各組委員と班長の皆様、フレッシュタウン鶴川自治会の皆様、そして各町内会のご家族の皆様が健康で充実した一年を過ごされることを祈念して、新年のご挨拶と致します。

●本年も宜しくお願い致します。

町内会広報部長 吉川良子

広報部に所属して町内会の諸事を少しでも早く多くの関わりをリアルタイムに広報誌に載せたいと部員一同、頑張り協力しております。居心地の良い街にする為、町内の人々の挨拶と挨拶が波紋の様に広がり、より仲良く成れる手助けが出来る広報誌に、努力していきたい。どうぞ良い記事、悪い記事等どしどしご意見頂き御申し付けください。

ぼっけん たんけん
野津田公園



さわやかな秋空の中、鶴川地区町内会自治会連合交流会2010《ぼっけん たんけん 野津田公園》が行われました。例年であれば陸上競技場にて大運動会が行われるところですが、今年は改修工事のため隣の多目的広場にて、午前中は【ウォークラリー】、午後からは【ミニ運動会】が行われました。【ウォークラリー】は野津田公園を目いっぱい使ったポイントラリーで、年齢・体力に合わせて「がんばりコース」(公園周遊の9ポイントをまわる)から「らくらくコース」(好きなポイントをまわる)、「ファミリーコース」(しばふ公園・わんぱく広場の周りをまわる)まで三種類のコースを選んで歩きます。今年初めての試みでしたが、がんばりコースを走って三十分ちょっとで回ってきた小学生、「きつい



運動不足がたたつてる」と悲鳴を上げて大人、「次は僕が押す！」とポイントカードを持っている走り出す未就園児、さらには「僕たち二周目」というつわものまでいて、大変楽しめたようです。ちなみに私はカメラを持って追いかけたのですが、道に迷っている人々に尋ねるとい、ウォークラリーの醍醐味を味わいました。

ゴールに待ち受けていたのはくじ引き。景品はお米やミニタオル等でした。

「がんばりコース」でも一時間半程度。疲れたけれど、たっぷり楽しめた競技でした。

お弁当を食べた後は【ミニ運動会】です。「おみやげな」には未就園児が走っておみやげを取りに行きます。そこにはピエロが待っているのですが、不思議そうに見てお菓子を返している子どももいました。

「孫といっしょ」では本当の祖父母・孫のほかに、

即席の祖父母・孫コンビも出ていて、町内会らしい玉入れが出来ました。最後は「〇×クイズ」。「鶴川駅は昭和10年に出来た。〇か×か。」というよな町田・鶴川に関するの難しいクイズが出され、並みいるつわものの中で、2名の方が優勝。5kgのお米を獲得されました。今年少し毛色が変わった運動会でしたが、家族・友達みんなが参加できて、いい汗かけた運動会でした。

【広報 藤原尚子】

神明社御祭礼

昨年十月三日、恒例年中行事である神明社御祭礼が行われました。

昨年は例年になく暑さの厳しい夏でしたが、ようやくこの頃から朝晩は過ごしやすく感じられ、気温も落ち着き始めた時期でありました。そんな中、式典が午前十時より粛々と始められました。本殿に入ると、朝の時間帯であると言う事と、木々が生い茂る山の上である、という場所の関係からか、涼しさすら感じ取ることが出来、自然と神聖なる雰囲気

背筋が伸びる感じがしました。

神明神社は、天照皇大神（あまてらすおおみかみ）を主祭神とし、伊勢神宮内宮（三重県伊勢市）を総本山とする神社であります。神明社、皇大神社、天祖神社などとも言い、通称「お伊勢さん」と呼ばれることが多いそうです。

祭神の天照皇大神は、太陽と神格化した神であり、皇室の祖神（皇祖神）とされているため、農耕儀礼と密接に結びつき、広く信仰を集めました。古代においては、王家のみの氏神でありましたが、中世には日本全体の鎮守として神社の性格は大きく変わり、神明社が広範囲に分布することとなりました。そして近世になると、新田開発の際に神明神社を創建することが盛んになりました。広袴の神明社は、創建の年代は明らかではありませんが、嘉永七年「村差出明細帳」に神明社とあり、「風土記稿」には小社の儀故旧来より神主なく、村内妙全寺で守護していた、とあります。

昭和二十五年（1950年）現在の社殿を氏子一同の協力により再建されました。例祭日は、毎年九月二十九日です。嘉永七年（1857年）頃、広袴には熊野・山王・天神・第六天・神明・金山・稲荷の七社が祀られていたそうですが、現存するのはこの神明社のみとなりました。

お祭は、午後一時からお神輿・山車の練り歩きが始まりました。集合時間三十前頃から徐々に集合場所である「つるかわ園芸」前に人が集まり始め、消防団、警察、各班の方々の準備も取り行われました。住民の大人や子供達の中に外国の方の姿を見つけました。ちょっと気になり、そのお二人に思い切って色々尋ねてみることにしました。一人はイギリス、もう一人はカナダからこの広袴に來られ、数年前からこの神明社の神輿担ぎに参加していらっしやる、ということでした。日本語もお上手で、日本の伝統行事に日本人と一緒に参加していらっしやる姿がとても頼もしく見えました。午後一時二十分頃

「ワッショイ！」の掛け声と供につるかわ園芸をスタート、途中2度の休憩を挟み約1時間半に渡って町内を練り歩きました。休憩ではジュース、ビール、アイスクリームが配られ大人も子供も大満足の様子でした。最後は一本締めで終了。消防団、警察、各班の係りの方、本当にご苦勞様でした。

最後に、広袴の様な新しい住宅地にとってこのよいうなお祭りはまだまだ小規模であり、地域に根付いた「伝統行事」とは縁遠いものかもしれません。しかし始まったところから「歴史」の始まりなのであり、「歴史」の積み重ねがなければ「伝統」には続かないものだと思います。またその「伝統」には人と人との交流がなければ築き上げることが出来ません。その様な意味で今行っていることは確実に「伝統」につながる一歩一歩なのだと思います。いつの日か神明社のお祭りが広袴の伝統行事の一つとなり、子供も大人も毎年お神輿担ぎを楽しみに待っている、



そんな行事に成長させることが出来る、と感ぜられる一日でした。
【広報
神蔵孝之】

作品展示会

昨年十月三十一日に広袴会館に於いて、作品展示会が行なわれました。



広袴にお世話になり、十二年になりました。おりがみが大好きだった父高橋四郎が町内会作品展に出展させていただいたことがご縁で毎年おりがみの展示をさせていただきます。父は「おりがみで童心にかえる」とよく話していました。私たちが家族もこのところを受け継いで、おりがみ創りを楽しんでいきたいとおもっています。今、ふるさと広袴をおりがみで描いてみたいと構想を練っています。これから

も宜しく願っています。

【北川賢治】

秋のフリーマーケット

台風で十月三十日第三回バザーの開催が翌三十一日に延期となりました。



台風一過とならず、厚い雲に覆われた三十一日でしたが、少し紅葉の始まりかけた広袴公園を散策しながらの買い物が出来ました。

ハロウインの衣装を着た子供の野菜売り場では、地場野菜を呼び声高らかに活気に満ちて居り、少し参加者が少ないのが気がかりでしたが、子供も売買に参加できる有意義なバザーと思えました。回を重ねてだんだん町内に浸透して大きなバザーへと応援して行きたい。

第四回目に皆さんがんばってお店を出しませんか。
【広報 吉川良子】

秋のクリーンアップデー



環境衛生部会も吉川部長含め部会員(十四名で構成)計画を立て年二回実施しました。第一回目は七月十八日(日)に酷暑の中実施(広袴便り第二十一号で吉川部長が報告)第二回目は、十一月二十一日(日)小春日和の中、時間を三十分繰り上げて午前九時三十分~十一時三十分まで実施、八時過ぎより各班長さんに会館にて町田市から配布されたボランティア資源ゴミの各袋と町内会からの大袋の三種類を渡しました。町内は落葉樹が多くいくら掃いても、舞い散る枯葉の中、皆さんで、歩道植込みの中の投げ捨てのビン、缶、ペットボトル等があり、途中でゴミ袋が不足するのではないかと心配していましたが、全員参加で、近所の親睦も図れたと思えました。

最後吉川部長と清掃終了後、特設集積所七ヶ所を

巡回し、ゴミ袋の中身及び数量の確認したところ、前回同様、数の多いのには驚きました。



参加された皆さんに感謝致します。

町田市もゴミ集積所の回収から戸別回収に変わり(資源ゴミ類は現在も集積所で回収)ゴミ置場のカラスのゴミ飛散の被害もなくなり町内も大分キレイになりました。しかし残念ながら一部犬の散歩で、キレイになった道路に犬猫の糞の未処理がありました。「自分の家の前なら・・・」一人一人が「護美(ゴミ)」に関心を持ち「いつもキレイな広袴の「美」しい町を「護」ってゆきたいと思えます。ご協力頂き有難う御座いました。

【町内会環境衛生副部長 渡邊修】

子供会のお楽しみ会

十一月二十七日さわやかな秋晴れの中、鶴川第三小学校にて子ども会主催「お楽しみ会」が行われました。ここ何年かはバスによる施設見学でしたが、今年は趣向を変え「ダブルダッチ講習会」を行いました。

ダブルダッチとは二本の縄を使って跳ぶ縄跳びのこと。二人の回し手が回す二本の縄の内側で、技を

交えながら飛ぶ競技をいいます。

講師の先生は「ハニー」。世界大会優勝・テレビドラマやCMに出演・東京デイズニerland二十五周年グラウンド・ファイナレにも出演するなど幅広い活躍をしているダブルダッチ・チームです。普段は幼稚園、学校、地域イベントなどで講習会、パフォーマンスを行い、ダブルダッチをより広めるため、一生懸命活動している方々です。

参加した子供たちは五十七名。そのほとんどがダブルダッチを見るのもやるのも初めての子ばかりでした。はじめに行われたパフォーマンスを見て、



みんなびっくり。

「僕達みんなのできるのかな？」と不安そうでしたが、丁寧な講習の結果、全員ダブルダッチを十回以上飛ぶことが出来ました。そ

してさらに中で左右に回ったり、一人一人入っては抜けていく技も出来るようになりました。

みんな、「できた！楽しかった！」の声。最後は「ハニー」の方々と記念撮影をして帰りました。

「ハニー」の皆様、丁寧な講習と見事なパフォーマンスをありがとうございました。また機会がありましたら、よろしくお願ひします。

【広報 藤原尚子】



月曜喫茶室へのお誘い

昨年三月広袴会館にて、悠々会地域包括支援センター主催で行われました、民生委員を含む十人程の参加で「低栄養を防いで介護予防」と題し勉強しました。その会が終わった時、参加者の中からこれで終わらず「何か地域に根づいた高齢者の『いい』



の場を作れないものかと声が出て、月一度気楽な集まりを持つ事で地域の繋がりが出来て、まじわりの中から支えあって、いつまでも自分らしく生きる」事が出来れば嬉しいと話し合

ました。そして、お茶飲み会「月曜喫茶室」が出来ました。五人のサポートの方も与えられ、八、九月はゆっくりお茶を飲み十、十一月は参加者に教わる「運命学」又、庭造りをしていた広楽会の方々に声をかけ、一緒にお茶を飲み楽しいひと時を持ちました。ありがとうございます。これからの本会は一人暮らしの高齢者が増加すると云われています。先人たち云う「遠しの親戚より近くの他人」地域の役割の大切さを感じます。

始まったばかりの会ですがいつの日かこの広袴自治会の中に福祉の穂が芽吹くように祈っています。毎月第四月曜日、午後一時三十分～三時三十分いつでも気軽に伺います。お待ちしています。

【洞口栄二子】

予告、近隣紹介

● どんど焼き

今年もどんど焼きを行います。

日時は一月十四日(金)午後四時三十分より。

団子を焼いて食べると、一年間病気をしないと云われております。ぜひ食べてみましょう。

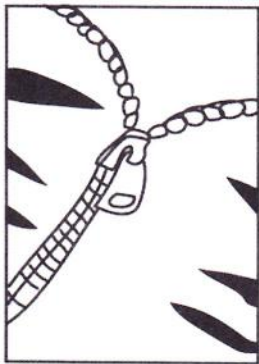
一月九日(日)午前九時三十分より御飾りの回収を、子供会より行いますので、ご協力お願いいたします。

● 薬師池公園

各季節の花があり、梅、桜、藤、花ショウブ、紫陽花、大賀ハス、椿などが植えられています。特に七月～八月に咲く大賀ハスは見どころです。秋には紅葉が美しい。町田市の鳥カワセミもいます。今ごろの季節は、鴨等がたくさんいてにぎやかです。

奥の高い所には、名前の由来の薬師堂があり、薬師様を安置してあります。ぜひこの公園に来たらお参りしてください。駐車場も完備しており、車でも行きやすいです。

【広報 桜井和則】



【つっちい】

広報部長

副部長

編集人

吉川良子

阿波根三恵子

神藏孝之

中村紀子

秋永恭子

菊地安子

南部修

桜井和則

山田豊久

三田村真嗣

藤原浩之